

花島公園自然観察会

新緑の花島公園を散策しよう！

内島くに子（佐倉市）

日 時：2025年4月27日（土）10:00～12:00

参加者：19名（大人15名、子ども4名）

担当指導員：伊藤、八木、藤井、内島

集まってみると老若男女のバラエティに富んだ顔ぶれだった。自然観察の楽しみ方はそれぞれだが、みなさん植物好きのようでスタートから会話が弾む。新緑の花島公園を味わっていただこうと3つのテーマを設定した。メインは見ごろのキンラン、この時期でしか見られない木や野草の不思議、そして草花遊び。ハナミズキの花から観察を始め「花はどれでしょう？」の質問に、参加者は「ということは、これは花ではないのね」といしながら熱心に観察している。

この時期を待ちかねたように、白いツツジにハナムグリ、ヤブキリの幼虫などが集まつており、いよいよ虫の季節が始まった！

広場を一回りして渓流へ降りる坂道の途中にキンランの小さな群生がある。図を示しながらの指導員の説明を聞きながら、参加者それぞれが花に見入っていた。菌類のコナラとの共生などは、ラン科に興味がある参加者の納得を得られたようだ。最近話題になっているランミモグリバエの被害についてもお伝えした。

渓流で遊べる公園はそれほど多くないと思うが、清掃の行き届いた渓流では、夏を待たずおおぜいの子どもたちが生き物探しに夢中だった。その渓流沿いに様々な種類のツバキが植林されている。花島公園を散歩の場所にしている方も多くいらっしゃったが、咲いているツバキだけではなく落ちているツバキの花からも、ツバキの仕組みや歴史を知つても池のふちではタンポポとブタナの違い、シロヤマブキとヤマブキの違いなどを見てもらった。池を渡ったところで最後の観察。旬のタケノコ、さてタケノコって一日にどれぐらい伸びる？ 2日前に印をつけた写真と今日のタケノコの成長の度合いを見つめられた。

中学生が兄弟で参加し、「タンポポと似た植物の違い、タケノコの脅威の伸び方など学校では習わない観察ができる勉強になった」と感想を寄せていた。

代表が最後に挨拶をした際拍手が起き、今日の観察会が参加したみなさんに喜んでもらえたことが伺えた。

最後に、集めた草花で絵を描きみんなで記念撮影。楽しく実りある散策だったと思う。



キンラン



ツバキのめしべ



タンポポとヤブキリ幼虫